

経営発達支援計画 令和 5 年度 評価表

【令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日】

【評価指標】

A：達成度 100%以上

B：達成度 80%以上 100%未満

C：達成度 30%以上 80%未満

D：達成度 30%未満

E：未実施

実施期間		令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日（5 年間）					
目 標		<p>【10 年後の小規模事業者のあるべき姿】</p> <p>1. 円滑な世代交代が進み、若い経営者が増えている。三次市の創業支援制度や有利な融資制度を活用し、新たな事業が創出されている。</p> <p>2. 魅力ある商品（製品）・サービスが売れ、多様な販路が確保できている。</p> <p>1. 事業承継による世代交代や、起業・創業による新たな事業者の創出</p> <p>少子・高齢化の加速による企業の人手不足、廃業が起業を上回る状況は地域の衰退に繋がり、人材の育成と起業の促進は重要である。三次市の施策等を活用し、円滑な事業承継と成功する創業へ繋げる。</p> <p>2. 商品力向上と売れるしくみづくりの構築</p> <p>人口減少等により、地域経済を支える小規模事業者は需要の低下、売上の減少に直面しており、事業者が地域で経営を持続するため、個社のサービス、強み・弱み、顧客ニーズと市場動向等を分析し、ビジネスモデルの再構築と事業計画策定支援を行い、販路拡大により売上の増加、経常利益の向上に繋げる。</p>					
区分	項目	事業の内容	事業実績	令和 5 年度		評価	
				目標	実績		
I 経営発達支援事業の内容	3-1. 地域経済動向調査に関すること【P10】	地域経済分析システム RESAS の活用によるデータ収集と分析	中小機構、北広島町・安芸高田市・三次広域商工会で地域経済分析システム（RESAS）の活用研修会を開催し、データ収集と分析の手法を学んだ。	公表回数	1 回	0 回	E 0%
		管内の小規模事業者の景気動向調査の実施	四半期ごとに提供される「中小企業景況調査報告書」を公式ラインに掲示、県内の景気動向情報を提供した。また、有効なデータとして事業計画策定等の経営支援の際に活用した。	公表回数	4 回	4 回	A 100%
	3-2. 需要動向調査に関すること【P11】	ギフト商品アンケートの実施（7 月、12 月）	地域内事業者の商品等を詰め合わせた「みよし感じるななまちギフト」実施の際に、商品力向上のため、「商品に関するアンケート」を行った。アンケート回収後、結果を出品者にフィードバックした。	対象事業者数	12 社	6 社	C 50%
		展示会・商談会アンケートの実施	「ビジネスフェア中四国 2024」2 社出展会場にてアンケートを実施し、商品に対するニーズ等を出品者にフィードバックした。	対象事業者数	4 社	2 社	C 50%
	4. 経営状況の分析に関すること【P13】	財務分析、SWOT 分析等の経営分析による経営課題の把握	MA1 等の記帳データを基に財務分析、経営課題の洗い出しを行った。	分析件数	60 件	47 件	C 78%
	5. 事業計画の策定支援に関すること【P14】	実効性のある事業計画策定に向けて支援を行う	経営分析を踏まえ、実効性のある事業計画策定を支援した。その際、活用可能な支援施策等も提案し、各種補助金等の獲得に繋げた。 ※（資料 2）事業計画策定個別相談会チラシ参照	策定件数	40 件	40 件	A 100%
	6. 事業計画策定後の実施支援に関すること【P15】	事業計画の進捗状況に併せて、計画的にフォローアップを実施	事業計画策定事業者を対象に、フォローアップ時期の設定などスケジュール管理を行い計画的な支援を実施した。	対象事業者数	40 件	40 件	A 100%
			40 事業者に対して 127 回実施	頻度	180 回	127 回	C 70%
			事業拡大 1 社、設備投資 12 社、創業 6 社	売上増加事業者数	28 社	19 社	C 67%
	7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【P17】	まちゼミの開催 ～お店の人が、プロの技や知識を直接教えてくれる!得する街のゼミナール～	三次商工会議所との共催で実施（25 事業所 30 講座）各商店の存在や特徴を知っていただくとともに各商店とお客様との交流を通し、各商店のファンづくり並びに商店街の活性化につなげた。	開催回数	2 回	1 回	C 50%
				参加事業者数	20 社	4 社	D 20%
		夏冬ギフト事業 （みよし感じるななまちギフト）	地域内事業者の商品等を詰め合わせたギフト事業を 7 月と 12 月に実施した。新たに 3 社が出品し、2 種類のギフトを提供することができた。 7 月 7 社 7 商品 149 個販売 12 月 12 社 12 商品 157 個販売 ※「みよしかんじるななまちギフト」報告書参照	実施回数	2 回	2 回	A 100%
				参加事業者数	12 社	19 社	A 158%

		展示会・商談会出展支援	<p>・山陽自動車道小谷 SA へ出展し商品の PR を行った。 1 社</p> <p>・「ビジネスフェア中四国 2024」出展支援を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>1 社 商談（名刺交換含む）26 件 内、成約 1 件 継続中 1 件</p> <p>1 社 商談（名刺交換含む）24 件 内、成約 1 件</p> </div>	出展事業者数	2 社	3 社	A 150%	
				売上額	2 万円	7.8 万円	A 390%	
				成約件数	1 件	2 件	A 200%	
		IT を活用した販売戦略の構築	<p>専門家派遣による個別指導 1 社</p> <p>SNS の活用指導</p>	構築件数	2 社	1 社	C 50%	
Ⅱ 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上	8. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事 【P20】	評価委員会（2 回）の開催	・評価委員会 1 回実施	開催件数	3 回	2 回	C 66%	
		検討委員会（1 回）の開催	・検討委員会 1 回実施	公表回数	1 回	0 回	E 0%	
	9. 経営指導員の資質向上に関する事 【P21】	各種研修会、セミナーへの参加	広島県商工会連合会、三次市、広島県事業承継ネットワーク主催の研修会に参加した。					
		OJT による支援ノウハウの構築	専門家派遣に同行し、専門家から支援に関する知識や手法を学んだ。					
		職員ミーティング及びスキルアップ研修会の実施	<p>・毎週月曜日、局長・経営指導員会議を開催した。</p> <p>・職員全体会議を開催し、進捗状況を確認し円滑な事業の実施に向けて情報共有を行った。</p>					
		情報のデータベース化	経営カルテの入力を行い、職員全員が支援状況を共有した。					
	10. 他の支援機関との連携を通じた支援のノウハウ等の情報交換に関する事 【P22】	三次市・三次商工会議所・三次広域商工会との業務連絡会議の開催	5 回開催 管内事業者の景気動向等の情報交換を行った。					
		金融機関との情報交換	日本政策金融公庫マル経協議会へ出席した。適宜、その他金融機関、信用保証協会と情報共有を行った。					
		商工会備北地域協議会への出席	商工会備北地域協議会ブロック研修会へ参加し情報交換を行った。					
	Ⅲ 地域経済の活性化に資する取組	11. 地域経済の活性化に資する取組 【P22】	地域観光資源の情報発信事業	<p>・みよし観光推進機構（DMO）と連携し、観光情報の共有を行った。</p> <p>・観光パンフレットの作成 未実施</p>				
7 地域の魅力発掘事業			<p>三次市と包括協定を結んでいる広島修道大学の学生による 7 地域の魅力発見事業として、令和 5 年度は君田・布野・作木地区の商店街を対象に行った。</p> <p>※報告書参照</p>					
総 評		<p>【Ⅰ. 経営発達支援事業の内容】</p> <p>コロナ後、回復基調ではあるが、原材料価格の高騰や人手不足など経営環境は依然として厳しい状況が続いている。</p> <p>管内事業者の新たな事業展開や経営改善計画が重要と捉え、実行性の高い事業計画を策定に取り組んだ。事業計画策定後は、新規顧客の確保、各種施策の活用、補助金を獲得し売上の増加につながった。</p> <p>販路開拓支援では、管内事業者の商品を詰め合わせた「みよし感じるななまちギフト」の販売、商談会への出展、販促ツール PR 冊子「みよし感じるななまち Ver3」を作成しました。「みよし感じるななまちギフト」は出品事業者の固定化が課題であったが、新たに 3 事業者が出品し、商品を広く PR することができた。商談会は、みよしブランドとして、三次商工会議所と合同で展示会「ビジネスフェア中四国 2023」へ出展した。商談会を効果的なものにするため、出展者を対象に事前説明会を行い、専門家による展示会の有効活用方法や成約率向上に向けた支援を行った。出展後、定期的に事後調査を行い成約件数の把握を行った。商品・サービスの PR 冊子「みよし感じるななまち Ver3」は、令和 6 年度の販路開拓支援ツールとして活用していく。令和 4 年度作成した Ver2 は、冊子や動画の効果により、一般消費者からの問い合わせが増え、売上増加につながった。</p> <p>【Ⅱ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援の向上】</p> <p>積極的に行政、金融機関、他の支援団体と情報交換を行い、経営発達支援事業の円滑な実施に向けて取り組んだ。</p> <p>三次市、三次商工会議所とは、アフターコロナ、原油価格高騰、物価高騰に関して密に情報交換を行い、補助金の制度設計等に向けて取り組むことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次市小規模事業者経営持続支援事業補助金 9 事業者 計 2,006,000 円 ・三次市エネルギー価格等高騰対策小規模事業者等支援金 464 件 <p>【Ⅲ. 地域経済の活性化に資する取組】</p> <p>三次市と包括協定を結んでいる広島修道大学の学生と取り組んだ「君田・布野・作木地区魅力発掘プロジェクト」は学生と地域事業者の活発な意見交換を行うことができた。引き続き、検証を行い、各個店の売上向上につなげていきたい。</p> <p>過去取り組んだ、三良坂地区では、学生がデザインしたご当地キャラ「ミラシカ」のカプセルトイを制作、商店街店舗でリレー設置を行う予定である。</p>						